

## 様式 B 京都府亀岡市



コミュニティ名：亀岡市

国：日本

コミュニティの人口：89,189人（2018年11月現在）

セーフコミュニティプログラムを開始した年：2006年

### ◆国際SCNメンバーシップ

認証年：2008年、2013年、2018年

認証した認証センター：アジア認証センター

プログラムに関する情報が得られるウェブサイト：

<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/shise/shisaku/safe-community/index.html>

### ◆詳細に関する問い合わせ

名前：森川 寿文／岡田 春樹／松永 恵理子／川勝 裕輝

組織：亀岡市役所総務部自治防災課セーフコミュニティ係

住所：京都府亀岡市安町野々神8番地

郵便番号：621-8501

自治体名：亀岡市

国名：日本

電話番号：0771-25-5097

ファックス：0771-24-5501

メールアドレス：lsc2008@city.kameoka.lg.jp

コミュニティや組織の情報を得られるウェブサイトの有無：有 <http://www.city.kameoka.kyoto.jp>



### ◆年齢ごと（抜粋）

#### ・子ども 0-14 歳

家庭：

子育て講座（保護者へのケガ予防知識の普及）…A

木造住宅の耐震診断と耐震改修の促進

交通：

通学安全対策事業

交通安全施設の設置

交通安全こども自転車大会

保育所・学校：

セーフスクールの認証取得

「地域こども出迎えデー」…B

保育所・学校施設の耐震化

スポーツ：

スポーツ研修会（指導者へのケガ予防知識の普及）

応急手当講習会

#### ・青年 15-24 歳

家庭：

木造住宅の耐震診断と耐震改修の促進（再掲）

交通：

自転車利用マナーアップ啓発活動

通学安全対策事業（再掲）

交通安全施設の設置（再掲）

学校：

セーフスクールの認証取得（再掲）

「地域こども出迎えデー」（再掲）

学校施設の耐震化（再掲）

スポーツ：

スポーツ研修会（指導者へのケガ予防知識の普及）（再掲）

応急手当講習会（再掲）

### ・成人 25-64 歳

家庭：

木造住宅の耐震診断と耐震改修の促進（再掲）

交通：

「セーフティドライブ」プロジェクト

交通安全施設の設置（再掲）

職場：

農作業安全講習会

労働災害の防止（事業所への指導）

スポーツ：

スポーツ研修会（指導者へのケガ予防知識の普及）（再掲）

応急手当講習会（再掲）

### ・高齢者 65 歳以上

家庭：

ウォーキング教室

転倒予防体操教室…

認知症等高齢者事前登録制度

木造住宅の耐震診断と耐震改修の促進（再掲）

交通：

高齢者運転免許証自主返納支援

「セーフティドライブ」プロジェクト（再掲）

交通安全施設の設置（再掲）

スポーツ：

応急手当講習会（再掲）

**・自殺予防**

いじめ対策

ゲートキーパー養成講座

ストレスチェックシステム「こころの体温計」

**・暴力・犯罪の防止**

暴力追放活動

女性の相談ネットワーク会議

ドライブレコーダー協定と「まち・レコ」プロジェクト…D

青色防犯パトロール

**・防災対策**

避難行動要支援者名簿

総合防災訓練

ハザードマップ配布

**◆ハイリスクグループに対する取り組み（抜粋）**

ハイリスクグループ①：虐待を受けている子ども、高齢者、DV

[根拠]

家庭内で虐待を受けている人は、その状況を口にすることが少なく、抱え込む傾向があり、外部からその状況を把握することが困難です。

よって、虐待の中心的な被害者である子ども、高齢者、DV被害者をハイリスクグループと位置づけています。

[取組]

虐待やDVに対しては行政が中心となって取り組んでいます。

児童虐待に対する問題意識が日本では年々広く認識されてきており、それに伴って市への通告や相談が増加しています。通告等があった際には家庭の調査や児童の安全確認を行います。市だけで対応することは出来ないため、2008年に警察・司法・教育・京都府などの関係者で組織を設置して連携して対応しています。

高齢者やDVに対しても多くの関係機関と連携して対応しています。

ハイリスクグループ②：身体障害、知的障害、精神障害及び他の障害を有する人

[根拠]

亀岡市において身体障害を有する人は約 5,000 人弱でここ数年横ばい傾向ですが、知的障害・精神障害を有する人は年々増加しています。障害者は災害などの緊急時には対応が遅れ、被害にあう可能性が高いため、ハイリスクグループと位置づけています。

[取組]

家庭内での事故、病気等の緊急時に警備会社に通報出来るように、身体障害者に緊急通報装置を貸与しています。

災害発生時の安否確認や避難誘導を円滑に行うため、身体障害者の名簿を本人の同意を得て自治会や消防署などへ提供しています。

ハイリスクグループ③：自然災害被害者

[根拠]

亀岡市は古来、保津川氾濫による水害に苦しめられてきました。1951 年に起こった平和池決壊では 114 人が亡くなりました。その後も台風や豪雨による災害被害に遭遇してきましたが、2008 年に日吉ダムが完成し、大規模な水害が発生することは少なくなってきました。しかし、最近では、ゲリラ豪雨と言われる局地的な豪雨が発生したり、1995 年の阪神・淡路大震災、2011 年の東日本大震災など、近年日本は大震災・大津波による甚大な被害を受けており、今後も巨大地震が起こると予測されているため、自然災害被害者をハイリスクグループと位置づけています。



2012 年 7 月 亀岡・京都豪雨



2013 年 9 月 台風 18 号

[取組]

地震や洪水発生時に予測される被害の範囲、被害程度、避難経路、避難場所などの情報を地図上に示したマップを市が作成し、市内全世帯に配布しています。

大規模災害の発生時に備えて、市は多くの企業や団体とあらかじめ協定を締結しています。災害発生時には協定に基づいて連携して救援・復旧を行います。

ハイリスクグループ④：外国人

[根拠]

亀岡市には多くの外国人が住んでおり、言葉や文化の違いにより普段の生活などにも支障をきたすことから、ハイリスクグループと位置づけています。

図表1 国別外国人登録人口の推移 出典：国勢調査

	韓国・朝鮮	中国	フィリピン	ベトナム	タイ	その他	合計
2015年	331人	114人	47人	27人	13人	130人	662人

[取組]

市の広報紙は英語版も作成して情報を提供しています。

市と亀岡国際交流協会は外国人を対象に「災害時の外国人支援講座」を開催して、災害発生時の対応の仕方などを周知しています。

#### ◆外傷サーベイランス（抜粋）

サーベイランス委員会メンバーである消防や警察、市行政等がデータを収集し、サーベイランス委員会に提供しています。また、これら既存のデータで把握できないことについては、サーベイランス委員会においてアンケート調査を実施し、情報を収集しています。

##### ①亀岡消防署医療機関搬送時記録

件数：1年間約1,200件

人口基盤：亀岡市人口 約90,000人

開始年：2010年～

##### ②市民アンケート

件数：有効回答率26.6%（世帯票532枚、個人票1,003枚※市内2,000世帯を抽出）

人口基盤：亀岡市人口 約90,000人

実施年：2007年、2016年

##### ③警察統計

件数：1年間犯罪約450件、交通事故350件、自殺約10件

人口基盤：亀岡市人口 約90,000人

開始年：2006年～

**◆出版物**

論文：

白石陽子『日本における安全なまちづくり「セーフコミュニティ」の10年間の実績に関する考察』  
「政策科学」 24巻4号, 159-178頁, 立命館大学 2017年3月

情報媒体：

市の広報誌

毎月発行している市の広報紙に活動を掲載したり、臨時でSC・ISSの啓発スペースを設置しています。

SCニュース発行

地域にSC活動を広報するために「SCニュース」を2013年6月から発行し、2ヶ月に1回2,000枚程度を市内に配布しています。

パンフレット

SCの活動成果を分かりやすくまとめたパンフレットを作成し、亀岡市全世帯（約33,000世帯）に配布しています。

ホームページによる周知啓発

亀岡市のホームページ上で、SC活動状況や外傷状況など、様々な情報を発信し、周知を図っています。

「セーフコミュニティかめおかの歌」

2018年11月に、SCの活動内容を誰にでも分かりやすい歌にした「セーフコミュニティかめおかの歌」と、それに合わせ市民300人以上が参加して動画を作成し、啓発を行っています。

<https://youtu.be/ahySBpTAjjg> (YouTube)

**◆スタッフ**

リーダー写真： 亀岡市長 桂川 孝裕



人数：4人

職業：市役所職員

非常勤か常勤か：常勤4人

正規雇用：4人

非正規雇用：0人

組織：

ー安全向上のための特定の分野横断的組織：

    亀岡市セーフコミュニティ推進協議会

    サーベイランス委員会

    対策委員会

        ①乳幼児の安全対策委員会

        ②高齢者の安全対策委員会

        ③スポーツの安全対策委員会

        ④交通安全対策委員会

        ⑤自殺対策委員会

        ⑥防犯対策委員会

ー一般的公衆衛生・健康増進のグループ：京都府南丹保健所、亀岡市保健センター

◆国際的コミットメント（2013年2月再認証以降）

・視察の受入：当市審査、随時視察受入

・セーフコミュニティ会議への参加：

    [国外]

    第7回アジア地域セーフコミュニティ会議（2014年5月、韓国・釜山広域市）

    第23回セーフコミュニティ国際会議（2017年10月、セルビア・ノビサド市）※ポスター発表

    [国内]

    全国セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク会議（2011年～）

    第9回アジア地域セーフコミュニティ会議（2018年11月、日本・神奈川県厚木市）

・セーフコミュニティ会議の主催：なし

・セーフコミュニティトラベリングセミナーの主催：

    ポストカンファレンス  トラベリングセミナーin 関西（2018年11月）



- ・他の自治体の現地審査・認証式への参加：
  - 横浜市栄区認証式（2013年）
  - 松原市認証式（2013年）
  - 久留米市認証式（2013年）
  - 北本市認証式（2015年）
  - 十和田市再認証式（2015年）
  - 厚木市再認証現地審査・認証式（2015年）
  - 秩父市現地審査・認証式（2015年）
  - 甲賀市現地審査・認証式（2015年・2016年）
  - 鹿児島市認証式（2016年）
  - 泉大津市現地審査・認証式（2016年）
  - 箕輪町再認証現地審査・認証式（2017年）
  - 豊島区再認証式（2018年）
  - 郡山市認証式（2018年）
  - 横浜市栄区再認証式（2018年）
  - 久留米市再認証式（2018年）